

# 新入荷商品のご紹介



京縫 付下げ  
330000円  
シンプルに雲の手刺繍を配した、おしゃれ用の付下げです。地色も新鮮で歌舞伎の観劇などに最適です。



印伝 そよか  
長財布  
28600円  
縁起の良い日本伝統の柄七宝を配して、シンプルでモダンなデザインは和装はもちろん、洋装にもピッタリ。



かわちや オリジナル 草履  
25000円  
おしゃれは足元からです。落ち着いたモダンなデザインで、都会的に。紬や小紋等にピッタリです。

かわちや オリジナル 草履  
25000円



むす美 晴れ着つつみ  
3300円  
着物をたとう紙に包んだまま包める大判サイズ。花の模様を裂取りにしたデザインがおしゃれ。

むす美 晴れ着つつみ  
3300円

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

## きもの新聞 2021年11月号

### ごあいさつ



今月11月で、竹次郎カフェもおかげさまでオープンから丸5年を迎えました。その頃のことを思い出すと、全く経験のない飲食店をオープンするのにとても不安だったことを思い出します。それが5年も続けることができ、あらためて支えて下さった皆様に感謝申し上げます。日々精進していきたいと思っておりますので、これからも宜しくお願いいたします。

12月の連休

12月7日(火) 8日(水)

### 特集 日本刺繍の魅力



日本の刺繍の歴史は古く、飛鳥時代に始まったといわれています。その後、奈良時代に刺繍の技術が飛躍的に発展し、鎌倉時代の仏教美術と融合します。桃山時代には武家好みの刺繍史上もっとも華やかで魅力的な刺繍が発展します。能装束、舞楽装束のほか、通常の上着である小袖にも刺繍を主要技法として用いたものが多く制作されるようになります。江戸時代には贅を尽くした刺繍が支配階級である武家の女性の成功者としての実感を得ようと用いられます。



明治時代には、大切な注文主である大名や社寺仏閣が明治維新の廃仏毀釈により次々と没落し新たな市場として海外貿易に目が行くようになります。大正時代には刺繍の半衿が大ブームになり、昭和の時代になるとミシン刺繍の誕生とともに、逆に手刺繍の貴重性は増し、現代の日本刺繍へとつながっています。さっと駆け足で日本刺繍の歴史を見てきましたが、長い歴史の中で、相良縫、菅縫、金駒縫などまだまだ多くの技法が発展してきた日本刺繍。友禅とは一味違った、上品な雰囲気を持っていて、表現に立体感が出るので、シンプルながらも高級感が出るのが特徴です。

SNSで情報発信中!

かわちやの新作商品や産地のものづくりの話、竹次郎カフェの開催日などSNSでも発信しています。

フェイスブック



kawachiya888

インスタグラム



kachuan888



呉服の河内屋

〒444-0521

愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62

https://www.gofuku-kawachiya.co.jp

メール info@gofuku-kawachiya.co.jp

tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539